

# 長野県ゼロカーボン戦略の推進について

資料 1

- 「2030年度に温室効果ガス正味排出量 6 割削減」の実現には、**戦略に掲げる施策の徹底的な実施が不可欠**  
⇒作業部会長のリードのもと、部会ごとに施策を推進、進捗を管理

中長期

短期

- 目標達成に向けて**ロードマップを9月に決定し、特に加速が必要な施策を重点事業として決定**  
⇒「ゼロカーボン加速化プロジェクト」のリーディングアクションとして強力に実行

## 戦略推進本部会議

本部長：知事【プロジェクト責任者】  
副本部長：副知事  
幹事長：環境部長【プロジェクトリーダー】  
本部員：関係部局長

7月下旬 作業部会長から現状と今後の方向性をプレゼン  
8月上～中旬 作業部会中間報告  
9月中旬 ①中長期的な取組方針（ロードマップ）の決定  
②短期的な取組（重点事業：リーディングACT）の決定

- ・6分野の作業部会を戦略推進の実働部隊とし、施策を推進、重点事業を検討・実施。
- ・作業部会間の連絡調整や情報伝達の間として、「部会連絡調整チーム」を設置。施策効果の定量化手法を検討。

支援・助言

外部有識者

支援・助言

## 作業部会（実働部隊）

- ・戦略等に記載の施策を確実に実施  
⇒施策を加速するために必要な重点事業を検討、実施
- 7月 現状・目標乖離等確認（いつまでに何をやるのか）
- 7～8月 ①ロードマップ、②重点事業の検討
- 9月 中長期・短期的な取組方針（案）を決定

支援・調整

## （新）部会連絡調整チーム

- 各部次長、部会実務担当者など
- 部会間の連携調整、情報伝達の間  
・施策効果の定量化（ロードマップ）
- 6～7月 施策のCO2排出量削減効果を推計

# ゼロカーボン戦略推進本部 作業部会の役割

○ゼロカーボン戦略ロードマップ骨子において、2030年度の主な目標をまとめたところ。

⇒目標を達成するために、「いつまでに何をするのか」

**効果的な施策を判断し、徹底的に事業を推進する**

部会	関係部局	2030年度主な目標(ロードマップ骨子)	現状・目標との乖離・単年度取組必要量 (t-CO <sub>2</sub> 、TJ)
交通 (自動車)	◎企画振興部 交通政策局 総務部 環境部 産業労働部 建設部 企業局	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗用車10万台がEV (次世代自動車への助成、税優遇)</li> <li>公共交通機関等の脱炭素化 (交通情報のオープンデータ化、キャッシュレス化推進)</li> </ul>	
建物	総務部 県民文化部 健康福祉部 環境部 産業労働部 観光部 林務部 ◎建設部 教育委員会 警察本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>新築住宅ZEH100% (基準適合義務化、ZEHへの助成、税優遇)</li> <li>省エネ家電をストック3割へ (省エネ家電キャンペーンの継続)</li> <li>電気使用量の3割を再エネ電気へ (屋根ソーラー・蓄電池の導入補助・共同購入の推進)</li> </ul>	
産業	環境部 ◎産業労働部 農政部 林務部 建設部	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業の自発的取組への誘導 (計画書の任意提出拡大、LCAカーボン排出量可視化)</li> <li>ゼロカーボン新技術開発への支援 (産学官連携によるクロスイノベーション、補助事業)</li> </ul>	
再エネ	◎環境部 農政部 林務部 企業局	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋根ソーラー住宅22万件、事業所1.5万件 (補助制度・共同購入による支援、長野県版ゼロ円モデル)</li> <li>小水力発電設備容量103万kW (収益納付型補助金、小水力発電キャラバン隊)</li> </ul>	
学び・行動	県民文化部 ◎環境部 教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>「くらしふと信州」と「信州環境カレッジ」の連携 (くらしふと信州のネットワークと、信州環境カレッジの発信力の融合等)</li> </ul>	
吸収・適応	危機管理部 環境部 農政部 ◎林務部 建設部	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林吸収量の維持・増加 (再造林等への嵩上げ補助、県産材の利用推進)</li> <li>まちなかの緑地の維持・増加 (森林づくり県民税の活用による緑地整備、街路樹の保全)</li> </ul>	

※ ◎は作業部会長

● 温室効果ガス正味排出量:2010年度比で2030年度▲932万t-CO<sub>2</sub>

● 再生可能エネルギー生産量:2010年度比で2030年度18,342TJ

# 今後のスケジュール

- 2030年度目標の達成に向けて、まずはこれまでの施策効果の定量化を実施。結果を踏まえ、ゼロカーボン実現に向けた最善の施策を導き出す。

⇒7月の戦略推進本部会議で、**作業部会ごとに発表**

会議体	6月	7月	8月	9月
作業部会		取組が不足している施策の把握 施策を加速させる事業（重点事業）の検討	R6年度事業の予算化検討	
部会連絡調整チーム 【施策効果の定量化支援】	手法の検討	概算を展開	推計結果の精査	施策案
戦略推進本部会議	6/16(本日) 方針の伝達	7月未定 作業部会長からプレゼン (いつまでに何をやるのか)	8月上旬～中旬 検討の方向性、途中経過の報告	9月中旬 重点事業 (リーディングアクション) 決定

ロードマップ骨子に、施策による削減効果の定量化及び重点事業を追加  
 ⇒「**ゼロカーボン戦略ロードマップ2023**」の作成